

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名: 岐阜市 都市建設部

事業の名称: 岐阜駅北口駅前広場整備事業

実施都市名: 岐阜市

事業目的

岐阜市は、名古屋市の北約30kmに位置し、人口約42万人を有する岐阜県の県都です。

岐阜駅周辺では、平成10年度にJRの連立高架事業が完成し、市街地の南北分断という問題は解消されました。

しかし、岐阜駅北口駅前広場では、交通結節点としての乗り継ぎの不便さやにぎわいの創出、駅周辺の新たなまちづくりが懸案として残されており、その問題解消の第一歩として、岐阜駅北口駅前広場の整備を実施しました。

事業概要

事業名：岐阜駅北口駅前広場整備事業

事業箇所：岐阜県岐阜市橋本町1丁目地内

広場面積：2.65ha

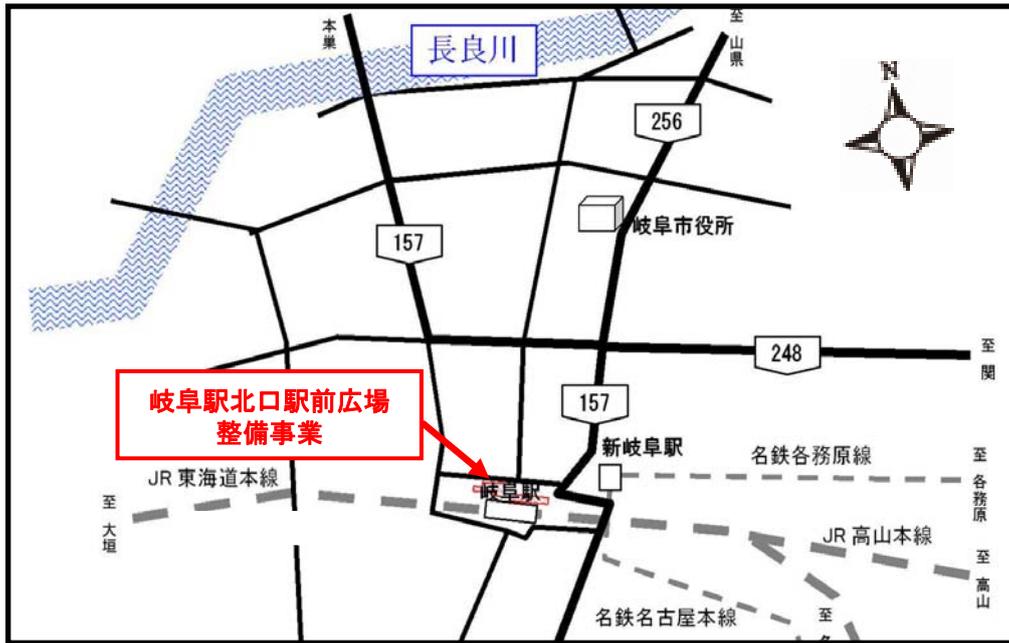
総事業費：約103億円

事業期間：平成14年度～平成21年度

岐阜駅北口駅前広場は、面積が2.65haと全国有数の規模を誇る駅前広場であり、バス乗降場(15バース)、一般車・タクシー乗降場、団体バス乗降場など、各交通施設を機能的に配置し、交通結節点機能の強化を図るとともに、歩行者への安全な空間の提供と一体的なにぎわいの創出を目的として、駅と街をつなぐ歩行者用デッキ(612m)を整備しました。

また、広場の中央部やデッキ上に、イベントなどに利用できるにぎわい空間を整備するとともに、『杜の駅』のコンセプトのもと、金華山や県内に自生する樹種を多数植栽し、緑豊かな空間を形成しています。さらに、誰もが安全で安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮したエレベータ、エスカレータ、情報案内板などの施設も配置しました。

事業位置図



全体図 (平面図)



- 駅前広場の主要施設**
- 立体横断施設: 歩行者用デッキ 612m
 - 昇降施設: エレベータ 9基、階段 11箇所
エスカレータ 3基
 - 乗降施設: バス乗降場、団体バス乗降場
一般車・タクシー乗降場
 - 駐車施設: 自動車整理場、自転車整理場
 - 修景施設: やすらぎの里、芝生広場
 - イベントエリア: 信長ゆめ広場、スクエア43
 - 便益施設: トイレ 2棟、歩行者・車両案内板

岐阜駅北口駅前広場の整備効果アピール資料

【整備効果】

(1) 交通結節点機能の強化

バス乗降場の整備 (15バース)

バス乗入台数 850台/日→**2,350台/日**

鉄道バス乗継時間 5分→**2分**

鉄道(岐阜駅)利用者数 55,234人/日→**58,738人/日**

バス年間利用者数 16,625千人/年→**17,692千人/年**

※ **3分短縮**

※ **約3,500人/日増**

※ **6.4%増**



バスロケーションシステムを導入したバス乗降場

公共交通
利用率
アップ

(2) にぎわい空間の創出

イベント等に活用できるにぎわい空間

イベント回数 0回→**38回** (H22.1月末現在)

信長ゆめ広場 1,800㎡

スクエア43 420㎡

杜の架け橋 600㎡



都心の
活性化

(3) その他の整備効果

○岐阜駅周辺の再開発事業

駅と再開発ビルを歩行者用デッキで結ぶことで再開発事業の側面支援効果

駅周辺の再開発事業 **完成(2事業)、着工(1事業)、準備組合等(5事業)**

○環境機能の強化

金華山の木々や県内に自生する樹種を多数植栽

やすらぎの里 2,240㎡、芝生広場 1,000㎡など

(高木193本、低木6,923本、生垣313m)

○安全・安心な駅前広場

ユニバーサルデザインに配慮

歩行者用デッキ 612m、エレベータ 9基

エスカレータ 3基、多機能トイレ 2棟、情報案内板など



駅と街を結ぶ歩行者用デッキ

事業前写真

平成13年10月撮影



従前の駅前広場（東から西を望む）



老朽化したバス乗降場



屋根のない一般車・タクシー降車場



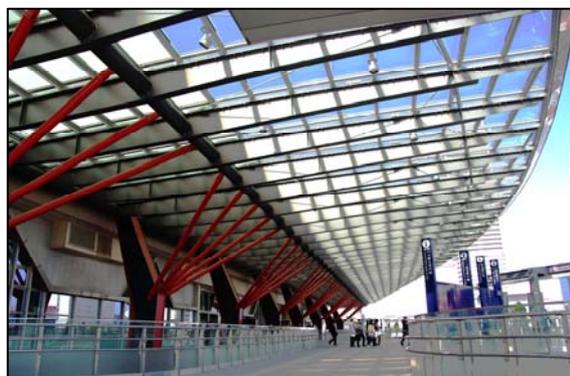
見通しが悪く危険な横断帯



老朽化した自動車整理場



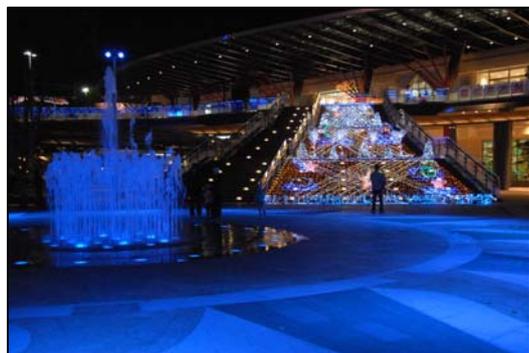
平成21年9月に完成した駅前広場（東から西を望む）



岐阜和傘をイメージした大屋根



ユニバーサルデザインに配慮した
エレベータ・情報案内板



音楽と同調した噴水と光の演出
『信長ゆめ広場』



『やすらぎの里』の流れ



市民の寄附により建立された
『黄金の信長公像』